

### 事業概要

- ① 自動運転の実走を目指して実証実験を実施します。
- ② 実証実験を通じて、信号連携等、実走に向けた課題を解決し、早期の実走開始を目指します。
- ③ 将来的には、各地区に自動運転バスの走行拠点を設置、走行エリアの拡大を目指します。

### 事業計画

2022年度:実証実験 1 区間で開始  
 2023年度:走行可能エリアの検証・信号連携の実証実験  
 2024年度:実走開始を目指す  
 2025年度以降:順次、走行エリア拡大を目指す

### 目標額

**6,000万円**

毎年度のランニングコストなど

### ベネフィット

- ・感謝状贈呈
- ・プレスリリース
- ・広報紙等で紹介

### 本市の課題

本市は開発時期が異なる分散型ベッドタウンが点在しており、各地区で高齢化率が大きく異なっています。  
 2045年には高齢者人口が現在の約1.6倍となる想定から、公共交通の利便性向上が喫緊の課題となっています。

### 目標

#### 国内初 既存公共交通と自動運転のベストミックスを実現

中心核のない分散型ベッドタウンでありながら、人口増を続ける本市において、既存公共交通網と自動運転バスのベストミックスによる新たな公共交通システムを生み出すことで、世代・居住地を問わず自由に移動でき、将来に渡り人々が安心して住み続けられる街を実現を目指します。

### 自動運転バスで細かいニーズを吸い上げる



鉄道駅との接続

点を繋ぐ  
 定時運行



市内商業施設との接続

面で抑える  
 データに基づく定時+予約運行